



当院の骨粗鬆症への関わり方

前回は骨粗鬆症についてお話しました。今回は

当院での在宅での骨粗鬆症への関わり方についてお話します。

まず日頃の診療では、



松原 清二 医師
在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症専門医
・認知症サポート医

転倒する危険性がないか生活環境を観察していただきます。例えばベッドやソファからの立ち上がり時にふらつきがないか、歩行が不安定な方は時に広い居間などでつかまるところがあるかどうかなど生活環境のリスクの評価をしています。

また日頃の問診では、最近背が縮まっているかどうかの確認を行います。実はこれは隠れ脊椎

また日頃の問診では、最近背が縮まっているかどうかの確認を行います。実はこれは隠れ脊椎

強くする治療を行なっています。

骨は、骨の産生を促す一方で骨を破壊するバランスの上で成り立っていますが、症例に応じて骨の産生を薬剤でより促進する、骨破壊の速度を阻

害するなど薬剤決定をします。

在宅医療で関わる方々においては、転倒や尻餅をついた際に簡単に骨折

さらに、疾患として呼吸器疾患やステロイドの内服など骨粗鬆症のリスクがあるかを拾いあげ、その後には、超音波で踵骨部に骨塩定量検査を行います。

【まつばらホームクリニック】
☎ 042-439-1250
西東京市東町 4-14-18-2F
(訪問中のため不在が多い)
■電話対応 : 午前 9:00 ~ 午後 6:00
■定休日 : 土日 (祝日は診療)
■訪問地域 : 西東京市、東久留米、新座、練馬の一部



まつばらホームクリニック ↑ 診療相談はこちらから